



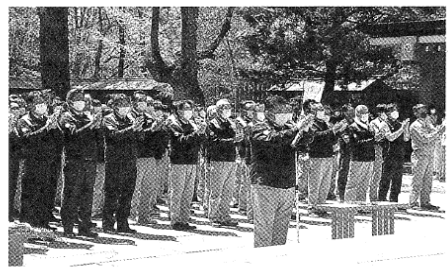
## きれいな境内で参拝を 宮坂建設グループ 神社清掃

【帯広発】宮坂建設工業（株）（帯広、宮坂寿文社長）をはじめとするグループ会社各社は13日、帯広市内の帯廣神社と十勝護国神社の清掃奉仕活動を行った。写真

真。グループ会社7社から約320人が集まり、境内の景観と参拝客の安全性の向上に汗を流した。活動は、宮坂建設工業創始者の遺訓である「世の為人の為につくせ」の精神に基づき、1995年から毎年行っているもの。27回目となる今回は、宮坂建設工業のほか、（株）松本組（函館、大越雄司社長）や（株）平田建設（十勝、長谷川雅毅社長）などグループ7社から総勢約320人が

参加した。活動に際し宮坂建設工業の阿部浩之執行役員副社長・建築担当は「真心を込めて活動に当たってほしい」と呼びかけた。このあと、全員で境内に落ちていた枝やごみを一つ一つ丁寧に拾い集めたほか、各施設にたまった落ち葉などを取り除き、景観と参拝客の安全性の向上に汗を流した。

## 宮坂社長 一致団結を強調 宮坂建設グループ 安全祈願祭



【帯広発】宮坂建設工業（株）（帯広、宮坂寿文社長）をはじめとするグループ会社各社は13日、帯広市内の帯廣神社で安全祈願祭を執り行った。写真。玉串を奉てんした宮坂社長は「これから変革の時代を迎える。一致団結して変化を先取りしていきたい」としてさらなる連携強化を求めた。

安全祈願祭は毎年地域貢献活動として行っている神社清掃奉仕活動のあとに行っているもの。ことは、宮坂建設工業の本社および札幌支社をはじめ、（株）松本組（函館、大越雄司社長）や（株）平田建設（十勝、長谷川雅毅社長）などグループ会社7社から総勢約460人が参列した。式では祝詞奏上などを行なったあと、宮坂社長が玉串を奉てん。あいさつに立った宮坂社長は「昨年創業100年を迎え、ことしで101年目。1歳として、また、アフターコロナということで変革の時代を迎える。グループ全体が一致団結して変化を先取りして対応していきたい」として、各社のさらなる連携強化に期待を寄せた。